

平成 27 年 第 12 回教育委員会 会議録

日 時	平成 27 年 11 月 20 日（金） 午後 3 時 30 分～4 時 15 分
場 所	向日市役所 第 6 会議室
出席委員	永野教育長、前田委員、白幡委員、松本委員、流石委員
欠席委員	なし
事 務 局	教育部長、教育総務課長、学校教育課長、図書館長、学校教育課担当課長 2 名、生涯学習課係長、教育総務課主査
議 題	委員会諸報告
傍 聴 者	なし
教育長	開会宣言
教育長	本日は、まず委員会諸報告について報告を願う。
事務局	— 向日市立図書館雑誌スポンサー制度実施要綱について — 雑誌スポンサー制度とは、雑誌の購入費用を民間の事業者などが負担し、その代わりにその雑誌に広告を出すことができる制度である。スポンサーは、企業・個人の事業者・公共的団体・NPO 法人などを想定しており、具体的な広告の方法は、雑誌の最新号のカバーにスポンサー名を記載したシールを貼り付けるほか、書棚にスポンサーが作成した広告を掲示する。 期間としては、原則 4 月からの 1 年間だが、年度途中の申込も随時受け付ける。 平成 28 年 4 月 1 日から施行し、4 月発刊号の雑誌から適用する。なお、12 月 15 日号の市の広報や図書館のホームページで広報活動を行う予定である。 【質疑等】
委員	スポンサーからの広告の内容は、事前にチェックするのか。
事務局	広告については事前に内容を提出してもらうので、そこで問題がないかを選考する。内容がふさわしくない場合は、修正をしてもらうか、修正に応じられない場合は断ることになる。
委員	1 つの雑誌に、2 つのスポンサーから申請がある場合はどうするのか。
事務局	先着順となる。

委員	図書館には、現在雑誌は何冊あるのか。
事務局	約 70 冊ある。
委員	雑誌スポンサーから提供を受けた雑誌も、所蔵する他の雑誌と同様に保管するのか。また、保管後は処分するのか。
事務局	雑誌については原則 3 年保管であり、他の雑誌と同様に取り扱う。 保管年数が過ぎた雑誌については、リサイクルデーで欲しい方に無償でお渡ししている。広告が載っているのは最新号のカバーだけである。
委員	スポンサーが支払うのは納入業者か、それとも広告を印刷している業者か。
事務局	雑誌については市内の業者から購入しているので、その代金をスポンサーが支払い、納品は図書館にしてもらう。
委員	第 5 条の「雑誌リストに含まれない雑誌を選定しようとするとき」というのは、スポンサー側から要求された場合か。
事務局	基本的には図書館が作成したリストから選んでもらうが、業者からどうしてもリスト以外の雑誌のスポンサーになりたいということであれば、協議のうえ、利用が多い雑誌であれば検討する予定である。
教育長	例えば、資料にある雑誌の購入費用は年間いくらになるのか。
事務局	月 2 回発行の単価 400 円なので、年間約 1 万円になる。
委員	どのような業者でもスポンサーに申し込めるのか。
事務局	向日市有料広告の掲載に関する要綱や向日市有料広告掲載基準第 3 条に規定する業種及び業者は対象としないので、市と同様の基準で判断していく。
委員	制度の目的としては、雑誌の充実を図るということだが、雑誌は今後増えていくのか。
事務局	業者には現時点での雑誌リストから選んでいただくことになる。図書館としても利用の多い雑誌は固定的に置いておきたいと考えており、それ以外の雑誌もスポンサーが付けば増やしていきたい。

委員	雑誌は子どもから高齢者まで幅広く読むと思う。本の内容とスポンサーの業種がアンバランスになることも出てくるのではないかな。
事務局	自分の業種に関連する雑誌のスポンサーになりたいのか、よく読まれている雑誌のスポンサーになりたいのか、スポンサーの考えによる。
教育長	次に、向日市ふるさと創生計画について報告願う。
事務局	― 向日市ふるさと創生計画について ― 向日市ふるさと創生計画の策定に係る状況について、本年８月に策定に係る基本方針が定められ、８月と１０月に会議が開催された。計画策定委員会の会議で、現段階では施策の柱及び施策分野の項目が示されている。本市では第５次向日市総合計画の教育に関する部分を教育振興基本計画と位置付けていたことや、本年８月に開催された総合教育会議において、第５次向日市総合計画に代わって本市の最上位計画になる向日市ふるさと創生計画と平行して教育に係る大綱を策定するとされたこと等を踏まえた項目となっている。なお、内容については今後調整される予定である。 この計画の期間については、平成２７年度から平成３１年度までの予定であり、来年１月に第３回の会議の開催、２月にはパブリックコメントの実施を経て、３月中に計画が策定される予定である。 【質疑等】
委員	施策分野の「産業の活性化」がなぜ「歴史を活かし、活力と魅力あふれるまちづくり」の中に入っているのか。
事務局	歴史文化的なものを観光等につなげていくという意味で入っていると考えられる。
教育長	次に、第４回子ども読書本のしおりコンテスト入賞者について報告願う。
事務局	― 第４回子ども読書本のしおりコンテスト入賞者 ― 京都府教育委員会と京都府図書館等連絡協議会が主催の第４回子ども読書本のしおりコンテストに、今回最優秀賞として第２向陽小学校の５年生が選ばれた。その他、優秀賞や佳作にも多くの児童が選ばれている。 この受賞した作品については、京都府下を巡回展示しており、本市では１２月２５日～平成２８年１月１１日まで、向日市立図書館で展示をする。

	【質疑等】
委員	全学校で取り組んでいる事業なのか。
事務局	ほとんどの小中学校で応募しているが、今回優秀賞や佳作も含め受賞した2つの学校については、夏休みの宿題として取り組んでいるので、他の学校と比べると応募作品数は多い傾向にある。
委員	実際の大きさはどれくらいか。
事務局	横25センチ、幅9センチである。
委員	受賞した作品を市の広報や学校だよりに掲載するのか。また、巡回展示の実施について周知しているのか。
事務局	各学校には受賞結果の通知や作品が印刷されているしおりも届いており、学校だよりで紹介する予定である。巡回展示の案内は、教育委員会から各学校に対して行っており、保護者に対しては学校だより等を通じてお知らせする。
教育長	次に、「向日市議会平成27年第4回定例会提出予定議案について」の報告をしていただくが、この報告については、公開することにより、今後の市議会での審議への影響も考えられるため、秘密会にしたい。 秘密会にすることに賛成の方は、挙手を願う。 (全員挙手)
教育長	全員挙手により秘密会とする。 (以下秘密会) (以上秘密会)
教育長	秘密会を解く。
教育長	閉会宣言